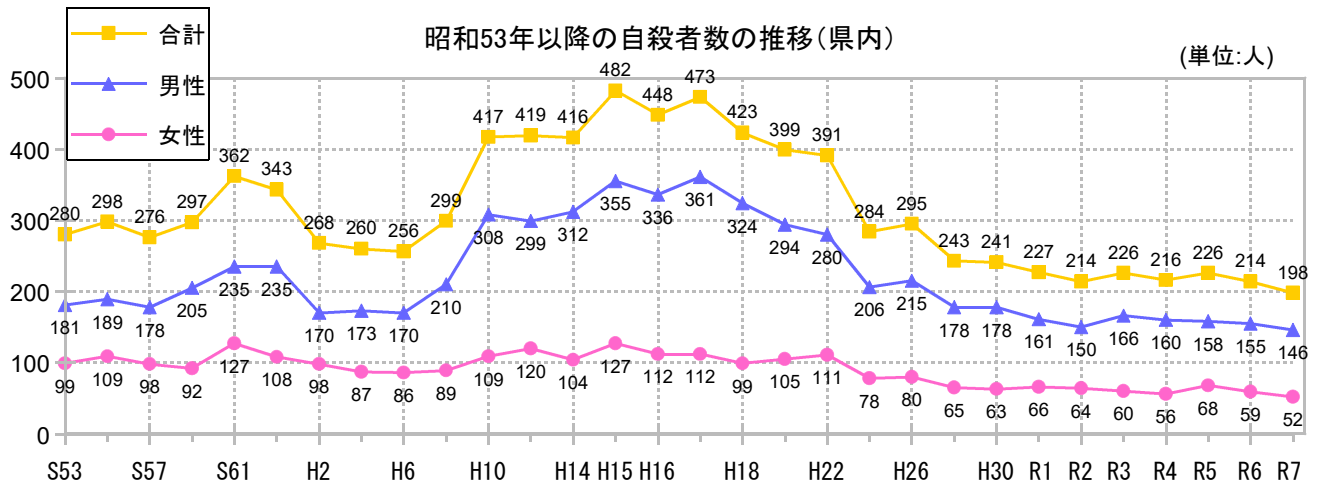


## 令和7年中の自殺の概要(長崎県内)

令和7年中の長崎県内の自殺者総数は198人で、前年に比べ16人減少している。

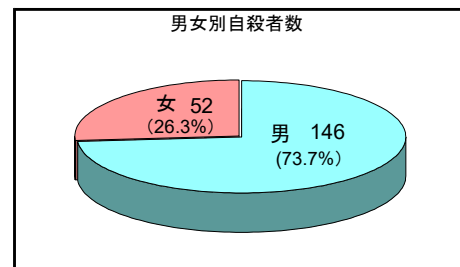


### 1 性別

男性は9人減少、女性は7人減少となり、男性が全体の7割以上を占めている。

(単位:人)

	総数	男性	女性
令和7年	198	146	52
(構成比)	(100%)	(73.7%)	(26.3%)
令和6年	214	155	59
増減数	-16	-9	-7
増減率	-7.5%	-5.8%	-11.9%

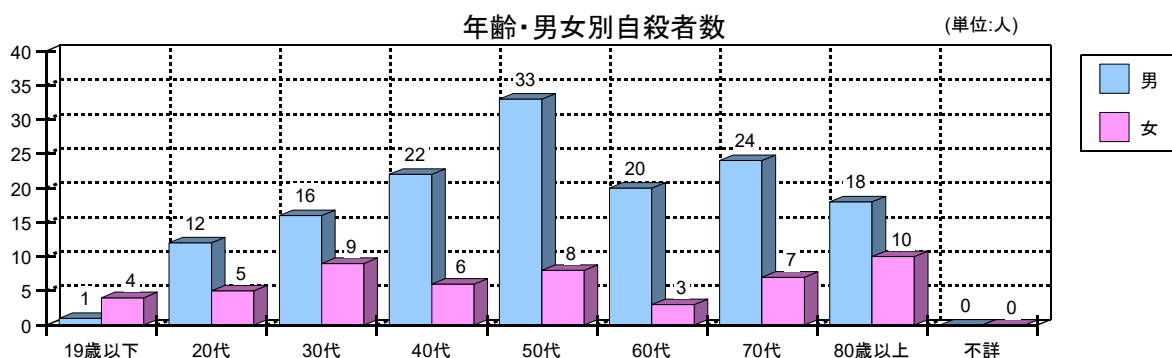


### 2 年齢別

「50代」が最も多く、次いで「70代」、「40代」及び「80歳以上」の順となっている。

(単位:人)

	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不詳
令和7年	5	17	25	28	41	23	31	28	0
(構成比)	(2.5%)	(8.6%)	(12.6%)	(14.1%)	(20.7%)	(11.6%)	(15.7%)	(14.1%)	(0.0%)
令和6年	6	19	27	31	24	34	46	26	1
増減数	-1	-2	-2	-3	+17	-11	-15	+2	-1
増減率	-16.7%	-10.5%	-7.4%	-9.7%	+70.8%	-32.4%	-32.6%	+7.7%	-100%



### 3 職業別

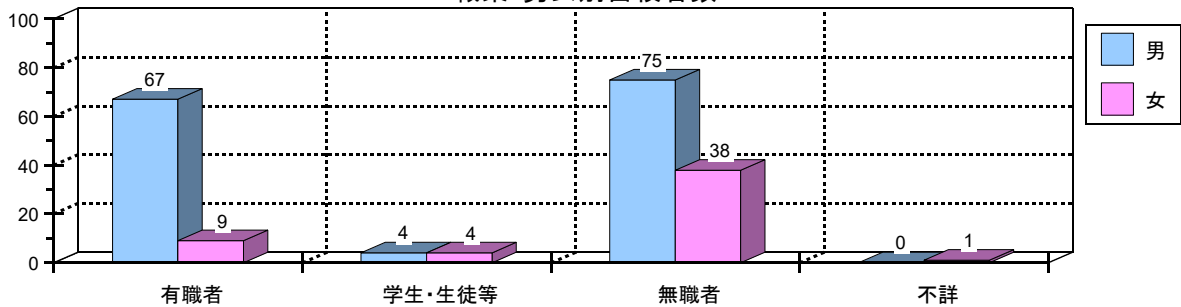
「有職者」「無職者」は減少し、「学生・生徒等」は増加している。

(単位:人)

	有職者	学生・生徒等	無職者	不詳
令和7年 (構成比)	76 (38.4%)	8 (4.0%)	113 (57.1%)	1 (0.5%)
令和6年	83	6	123	2
増減数	-7	+2	-10	-1

職業・男女別自殺者数

(単位:人)



### 4 原因・動機別

「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「その他」の順となっている。

(単位:人)

	総数	原因・動機 特定者	原因・動機 不特定者
令和7年	198	178	20
令和6年	214	200	14
増減数	-16	-22	+6

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な原因が連鎖する中で起きていることに留意が必要である。

※ 自殺の原因・動機は、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に加え、家族等の証言から考える場合を含め、自殺者1人につき関連性の高いものから4つまで複数計上可能である。このため、原因・動機特定者数と原因・動機の延べ数は一致しない。

(単位:件)

	原因・動機特定者の原因・動機別内訳							延べ数
	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	
令和7年	36	118	48	24	6	1	40	273
令和6年	27	139	33	27	6	5	29	266
増減数	+9	-21	+15	-3	±0	-4	+11	+7

原因動機・男女別自殺者数

(単位:件)

